

業務内容及び数量

業務内容	単位	数量	摘要
1. 現地調査業務			
計画準備			
計画準備	式	1	
機材運搬	式	1	
現地調査			
かき落とし	m2	73	H. W. L. 以下の上部工側面・下面
潜水調査(1)	m2	300	L. W. L. 以下の鋼管杭、上部工側面、 H. W. L. 以下の上部工下面を想定
潜水調査(2)	m2	84	L. W. L. 以上の鋼管杭を想定
目視調査(1)	m2	50	渡橋及び連絡橋の上面(柵含む)
目視調査(2)	m2	246	L. W. L. 以上の上部工側面、H. W. L. 以上の 上部工下面及び渡橋及び連絡橋の側面 下面を想定
肉厚測定	箇所	312	26本×3深度×4方向
コア採取	式	1	φ70～80 3本、φ50 2本 鉄筋探索
圧縮強度試験	式	1	φ70～80 3本、静弾性係数測定(3施設)
中性化試験	式	1	圧縮強度試験コアを使用
塩分含有量試験	式	1	φ50 2本(上部工下面、側面)
2. 設計業務			
《基本設計》			当初設計の再現
設計計画	式	1	
資料収集・整理	式	1	性能規定の設定資料
設計条件			
利用・自然条件設定	地点	1	
土質資料整理解析	地点	1	砂質 Bor 1 本
安定性の照査	式	1	3施設：プラットフォーム1施設・トルフィン2施設
《細部設計》			
設計計画	式	1	
鋼管杭補修設計	式	1	1本想定※
対策方法の比較検討	式	1	
防食設計	式	1	3施設：プラットフォーム1施設・トルフィン2施設
上部工補修設計	式	1	3施設：プラットフォーム1施設・トルフィン2施設
《実施設計》			
図面作成	式	1	鋼管杭補修・上部工(各橋含む)補修
数量計算	式	1	鋼管杭補修・上部工(各橋含む)補修
3. 報告書作成	式	1	
4. 協議・報告	回	4	着手時、中間2回(現地調査分含む)、 成果品納入時
5. 照査	式	1	

- ・ 鋼管杭補修設計については現時点では要補修杭の本数は不明のため、1本を想定する。
- ・ 上部工上面の調査は、H31年度、R2年度の調査を参照するため不要とする。
- ・ 上部工側面、下面、鋼管杭の調査は、本業務で実施する。
- ・ R2年度調査より、電気防食は亡失のため、陽極消耗量調査、電位測定は計上しない。

・調査数量について

潜水調査（１）：潜水土により、海面下の部材について劣化・損傷状況等の調査を行い、記録を整理する。

潜水調査（２）：潜水土により、鋼材の一部の付着物除去後、劣化・損傷状況等の調査を行い、記録を整理する。（かき落としは計上不要）

目視調査（１）：陸上から施設全体の目視可能な部材について劣化・損傷状況などの目視調査を行い、記録等を整理する。

目視調査（２）：船上にて施設全体の海面上の部材について劣化・損傷状況等の目視調査を行い、記録等を整理する。

施設	部材	標高	かき落とし	調査	面積
プラットホーム	上部工側面	D.L.+3.5～+2.5m	不要	目視調査（２）で計上	34.0
	上部工下面	D.L.+2.5m	不要	目視調査（２）で計上	72.0
	鋼管杭（L.W.L.以上）	D.L.+2.5～+0.0m	不要（潜水調査（２）に含む）	潜水調査（２）で計上	57.1
	鋼管杭（L.W.L.以下）	D.L.+0.0～	不要	潜水調査（１）で計上	131.7
ドルフィン	上部工側面（H.W.L.以上）	D.L.+3.0～+1.5m	不要	目視調査（２）で計上	60.0
	上部工側面（H.W.L.以下～L.W.L.以上）	D.L.+1.5～+0.0m	必要	目視調査（２）で計上	18.6
	上部工側面（L.W.L.以下）	D.L.+0.0～-1.0m	必要	潜水調査（１）で計上	6.7
	上部工下面	D.L. +1.5～-1.0m	必要	潜水調査（１）で計上	48.0
	鋼管杭（L.W.L.以上）	D.L.+1.5～+0.0m	不要（潜水調査（２）に含む）	潜水調査（２）で計上	26.4
	鋼管杭（L.W.L.以下）	D.L.+0.0～	不要	潜水調査（１）で計上	114.0
渡橋	上面（柵含む）		不要	目視調査（１）で計上	36.2
	側面（両測面）		不要	目視調査（２）で計上	10.5
	下面		不要	目視調査（２）で計上	36.2
連絡橋 2箇所	上面（柵含む）		不要	目視調査（１）で計上	14.2
	下面		不要	目視調査（２）で計上	14.2

かき落とし	m2	73	H. W. L. 以下の上部工側面・下面
潜水調査(1)	m2	300	L. W. L. 以下の鋼管杭、上部工側面、 H. W. L. 以下の上部工下面を想定
潜水調査(2)	m2	84	L. W. L. 以上の鋼管杭を想定
目視調査(1)	m2	50	渡橋及び連絡橋の上面
目視調査(2)	m2	246	L. W. L. 以上の上部工側面、 H. W. L. 以上の上部工下面を想定 渡橋及び連絡橋の側面・下面